

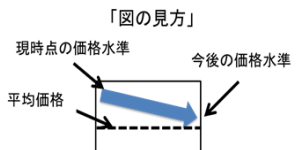
野菜の需給・価格動向レポート(平成28年1月12日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

・レポートの読み方については、注意書きを参照してください。

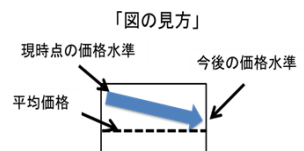
種類	12月の価格情報				1月	入荷量及び主要産地	生育及び価格の1月中旬までの見通し	「図の見方」 現時点の価格水準 平均価格 今後の価格水準	
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格							(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格
		上旬	中旬	下旬					
葉茎菜類	キャベツ	72.93	57	53	48	96.86	平均価格 →	愛知産は、春系が適度な降雨と気温高により前進出荷傾向である一方で、冬系が曇雨天の影響で定植が遅れたことによって出荷が後ずれし春系と冬系の出荷が重なっていることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。千葉産は、適度な降雨と気温高により、前進傾向での出荷となっており、現在平年よりやや多めの出荷であるが、今後は落ち着いた出荷となり、平年並みの出荷の見込み。神奈川産は、天候に恵まれ特段の病害もないことから生育は順調で引き続き平年並みの出荷の見込み。 愛知産、千葉産及び神奈川産の出荷が平年よりやや多め若しくは平年並みと見込まれることから、平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		76.91	59	51	48	92.10			
	たまねぎ	76.15	59	59	59	76.15	→	北海道産が、生育期の天候に恵まれ作柄も良好で、平年よりやや多めと見込まれることから、価格は引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		76.15	65	68	64	76.15			
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ)	240.04	255	229	240	252.99	→	千葉産は、気温高により肥大が進み太物比率が高まり、現在平年並みの出荷であるが、今後も肥大が進み太物中心の出荷に加え、作業の遅れていたものが出荷されることから、平年よりやや多めの出荷の見込み。埼玉産は、生育期の天候不順の影響で生育はやや不良であることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。茨城産は、気温高により太りも良好で特段の病害もないことから、生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。 埼玉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、千葉産及び茨城産の出荷が平年よりやや多め若しくは平年並みと見込まれることから、価格は引き続き平年並みに推移する見込み。	
		467.01	418	429	437	473.04			
	はくさい	40.32	31	31	33	64.18	→	茨城産は、天候に恵まれ品質が良く、特段の病害の発生もないことから生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。 茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、価格は平年に近づき、現在平年を大幅に下回っていることから、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		55.95	48	50	56	68.70			
	ほうれんそう	385.11	429	469	432	338.43	→	群馬産は、気温高など天候に恵まれ、生育は順調なことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。茨城産は、最近の適度な降雨と気温高により、生育は順調で引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。埼玉産は、気温高など天候に恵まれ生育は順調なことから、前進出荷傾向で、現在は平年よりやや多めの出荷となっているが、今後は出荷の谷間となることが見込まれ、平年よりやや少なめの出荷の見込み。 群馬産及び埼玉産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや少なめと見込まれるものの、茨城産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を上回っている価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		461.74	508	538	563	375.38			
	レタス (結球)	233.85	158	184	181	233.85	→	静岡産は、天候に恵まれ生育は順調である一方で、気温高により規格外品の発生が多いことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。香川県及び兵庫県産は、これまでの前進出荷の影響と気温高で規格外品の発生が多いこともあり、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 静岡産の出荷が平年並みと見込まれるものの、香川県及び兵庫県産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、12月下旬から値を上げ、現在概ね平年並みとなっている価格は、平年を上回って推移する見込み。	
		226.75	161	189	202	226.75			
果菜類	きゅうり	370.98	510	410	516	370.98	→	宮崎産は、天候に恵まれ特段の病害もないことから生育は順調で、引き続き平年並みの出荷の見込み。高知産は、天候に恵まれ特段の病害もないことから生育は順調で、現在平年並みの出荷であるが、今後は気温高により増加が見込まれ、平年よりやや多めの出荷の見込み。千葉産は、11月の日照不足などの影響で生育はやや不良となっていたが、徐々に回復傾向ではあるものの、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 千葉産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、宮崎産及び高知産の出荷が平年並み若しくは平年よりやや多めと見込まれることから、1月に入り値を下げ平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		350.33	492	391	482	350.33			
	トマト (大玉)	349.23	254	293	344	349.23	→	熊本産は、成り疲れから玉太りが鈍く、現在平年よりやや少なめの出荷であるが、今後は最近の天候に恵まれ玉伸びが良好で、出荷の回復が見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。愛知産は、成り疲れと前進出荷の影響から、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。栃木産は、一部のほ場で病害は見られるが、全体的に生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 愛知産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれるものの、熊本産及び栃木産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在概ね平年並みの価格は、引き続き平年並みに推移する見込み。	
		326.61	249	287	350	326.61			
	なす	389.03	421	442	441	389.03	→	高知産は、天候に恵まれ生育は順調で特段の病害もないことから、引き続き平年並みの出荷の見込み。福岡産は、日中の気温と夜温が高く、花落ちの影響が残っていることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。 高知産の出荷が平年並みと見込まれるものの、福岡産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、1月に入り値を下げ平年並みの価格は、平年を上回って推移する見込み。	
		397.74	428	426	429	397.74			
ピーマン	378.83	372	507	563	578.80	→	宮崎産は、最近の日照も多く生育が促進されたこともあり、少なめの出荷から一時的に平年並みの出荷に回復したが、今後は前進出荷の影響もあり、平年よりやや少なめの出荷の見込み。高知産は、最近の天候に恵まれ、病害も特段なく生育は順調なことから、今後も引き続き平年並みの出荷の見込み。鹿児島産は、成り疲れなどから現在平年よりやや少なめ出荷となっているが、今後は回復が見込まれることから平年並みの出荷の見込み。 高知産及び鹿児島産の出荷が平年並みと見込まれるものの、宮崎産の出荷が平年よりやや少なめと見込まれることから、概ね平年並みの価格は、平年を上回って推移する見込み。		
	371.29	371	524	558	565.30				
根菜類	だいこん	67.55	44	49	51	79.03	→	千葉産は、最近の適度な降雨と気温高から肥大が進み、太物の発生率が高まり、生育は順調であるものの、下等級品の出荷自粛を行っていることから、引き続き平年よりやや少なめの出荷の見込み。神奈川産は、天候に恵まれ特段の病害もなく生育は順調であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。 千葉産及び神奈川産の出荷が平年よりやや少なめ若しくは平年並みと見込まれることから、平年を下回っている価格は、平年に近づき、現在平年を大幅に下回っていることから、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
		76.48	50	53	57	80.47			
	にんじん	105.86	87	82	87	111.16	→	千葉産は、最近の適度な降雨と気温高により生育は順調で肥大が進み、太物傾向となっていることから、引き続き平年よりやや多めの出荷の見込み。 千葉産の出荷が平年よりやや多めと見込まれることから、現在平年を下回っている価格は、引き続き平年を下回って推移する見込み。	
104.49		98	110	119	109.97				

種類	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	12月の価格情報			1月	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の1月中旬までの見通し
		指定野菜の関東・近畿ブロック 旬別平均販売価格	上旬	中旬				
いも類	さといも	220.97	269 (122%)	295 (134%)	293 (133%)	228.85	・入荷量：730t ・主産地：埼玉(36)、千葉(33)	→
		217.56	306 (141%)	316 (145%)	345 (159%)	219.65	・入荷量：184t ・主産地：愛媛(65)、熊本(15)、宮崎(14)、輸入(5)、奈良(1)	
	ばれいしょ	96.99	88 (91%)	88 (91%)	90 (93%)	96.99	・入荷量：8,326t ・主産地：北海道(63)、長崎(27)	→
		96.99	89 (92%)	86 (89%)	86 (89%)	96.99	・入荷量：2,158t ・主産地：北海道(65)、長崎(28)	



注：1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格。
2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を150%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。
5 主産地は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年見込、近畿は前年実績。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価格を一部の品目につき細分化し、ねぎについてはねぎ(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

種類	(参考) 過去5カ年平均価格	12月の価格情報			1月	(参考) 過去5カ年平均価格	入荷量及び主要産地	生育及び価格の1月中旬までの見通し
		東京・大阪市場の旬別価格	上旬	中旬				
洋菜類	ブロッコリー	313.68	241 (77%)	188 (60%)	208 (66%)	392.30	・入荷量：1,908t ・主産地：愛知(35)、香川(21)、埼玉(14)、長崎(6)、輸入(6)、福岡(5)、群馬(5)	→
		376.05	272 (72%)	194 (52%)	212 (56%)	425.72	・入荷量：455t ・主産地：徳島(35)、鳥取(13)、長崎(11)、和歌山(10)、香川(8)	
根菜類	かぶ	114.51	96 (84%)	108 (94%)	115 (100%)	153.79	・入荷量：1,439t ・主産地：千葉(86)、埼玉(10)	→
		125.22	107 (85%)	120 (96%)	132 (105%)	139.51	・入荷量：263t ・主産地：徳島(41)、福岡(28)、石川(16)、奈良(10)	



注：1 平均価格は、過去5年間(平成22年から26年)の東京及び大阪市中央卸売市場の価格。
2 旬別価格は、上段は東京中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。
3 旬別価格の赤字は、平均価格を150%以上回るもの、背景ありは平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。
4 入荷量は、東京都及び大阪市中央卸売市場の過去5カ年平均の数値である。
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアで前年実績である。
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、11月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、5.303kg(前年比106%)、購入金額は、1,809円(同106%)となった。
また、小売物価統計によると、12月のキャベツの小売価格は、134円(過去5カ年平均比78%)、トマトは596円(同86%)、だいこんは108円(同83%)、ばれいしょは303円(同97%)となり、各品目で前年を下回っている。

年	過去5カ年平均		平成26年		平成27年	
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)
1月	4,272	1,640	4,379	1,775	4,374	1,755
2月	4,485	1,666	4,646	1,742	4,609	1,761
3月	4,868	1,811	4,958	1,878	4,921	1,939
4月	4,765	1,855	4,871	1,887	4,693	1,807
5月	5,089	1,917	5,146	1,993	4,968	1,857
6月	5,056	1,902	4,998	1,976	5,044	1,917
7月	4,402	1,737	4,542	1,770	4,353	1,666
8月	4,315	1,731	4,275	1,846	4,240	1,998
9月	4,688	1,844	4,745	2,035	4,836	2,143
10月	5,191	1,902	5,455	1,973	5,400	2,170
11月	4,990	1,700	5,291	1,704	5,303	1,809
12月	5,146	1,927	5,233	1,977		

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁業世帯を除く))」
注：平年は、過去5カ年平均(平成22～26年)。

	キャベツ		トマト		だいこん		ばれいしょ	
	平成27年	前年比	平成27年	前年比	平成27年	前年比	平成27年	前年比
1月	229	108	663	99	154	102	313	99
2月	202	91	696	107	170	100	316	100
3月	169	82	766	109	157	91	324	102
4月	255	105	747	106	192	110	358	106
5月	273	168	702	114	212	138	409	114
6月	188	137	648	116	160	107	443	126
7月	167	104	608	105	188	116	474	144
8月	188	136	593	102	199	122	437	134
9月	226	143	748	109	204	110	343	106
10月	277	159	803	102	182	98	328	103
11月	192	117	680	93	138	91	315	101
12月	134	78	596	86	108	83	303	97

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
注：1 平年は過去5カ年平均(平成22～26年)。
2 平成27年12月の値は、12月中旬の速報値。

3 野菜の輸出入動向

貿易統計によると、11月の野菜の輸入量は、生鮮野菜が、5万2千トン(前年同月比102%)、加工野菜が14万7千トン(同113%)、野菜全体では、19万8千トン(同110%)となった。このうち、中国産野菜合計は11万2千トン(同100%)となった。
生鮮野菜及び加工野菜で、前年を上回ったことから、野菜全体では前年をかなりの程度上回った。
また、輸出量は、生鮮野菜が、2,728トン(同291%)、加工野菜が、1,966トン(同120%)、野菜全体では4,695トン(同182%)となった。生鮮野菜及び加工野菜で前年を上回ったことから、野菜全体では前年を大幅に上回った。

区分	平成25年		平成26年		平成27年11月		平成27年1月～11月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同期比	前年同期比	
生鮮野菜	854,420	90	884,735	104	51,688	102	763,514	94
加工野菜	1,854,679	97	1,785,487	96	146,611	113	1,600,744	98
野菜合計	2,709,100	95	2,670,222	99	198,299	110	2,364,258	96
うち中国産野菜合計	1,416,557	97	1,409,604	100	111,563	100	1,234,694	96
中国産シェア	52		53		56		52	

区分	合計	1位		2位		3位	
		国名	数量	国名	数量	国名	数量
たまねぎ	17,967	中国	17,230	アメリカ	724	フランス	13
にんじん及びかぶ	5,154	中国	4,917	オーストラリア	211	アメリカ	26
ごぼう	4,314	中国	4,292	台湾	23		

資料：農畜産業振興機構「ベジ探」(原資料：財務省「貿易統計」)

区分	平成25年		平成26年		平成27年11月		平成27年1月～11月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同月比	前年同期比	前年同期比	
生鮮野菜	9,302	145	9,429	101	2,728	291	15,335	188
加工野菜	14,174	122	17,061	120	1,966	120	18,383	121
野菜合計	23,476	130	26,490	113	4,695	182	33,719	145

区分	合計	1位		2位		3位	
		国名	数量	国名	数量	国名	数量
たまねぎ及びジャロット	1,747	台湾	1,212	韓国	532	香港	2
ながいも等	514	台湾	255	アメリカ	208	シンガポール	49
きのこ(その他)	133	台湾	68	香港	44	タイ	15

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜供給部 供給業務課 戸田、河原、斎藤、海老沼 TEL03-3583-9448、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の供給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
★この「野菜の供給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。
※無断転載禁止 ・ レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。